



8月29日(木)は、名向小フェスタにお邪魔して、ブースをいただいて、子どもたちに缶バッジ作りをしてもらいました。

缶バッジのデザインは、メンダコ、ミズクラゲ、シロイルカ、イワトビペンギンなどの海の生き物でした。



子どもたちは、熱心に取り組んで、可愛い缶バッジを作っていました。

子どもたち同士教え合う場面も見えました。何人かは、海の生き物のぬり絵にも挑戦しました。

子どもたちが喜んでくれてうれしかったです。

ステージでは、子どもたちが、それぞれ工夫した内容で、歌や踊りを発表していました。

名向小出身のお笑い芸人、島山ノブヨシさんも、母校のフェスタに花を添えてくれました。



9月1日(日)は、旭小学校の夏祭りに伺いました。

昨年に引き続いて、タッチプールが設置されました。最初に、約1トンの海水と、魚が弱るのを防ぐための大量の氷を入れました。(左の写真)

いよいよ海の生き物の投入。マダイ、シマアジ、イナダ、フグ、イセエビ、ナマコ、サザエなどが入り、子どもたちや保護者から、大きな歓声が上がりました。

子どもたちは大喜びで、海の生き物に触れていました。最初は、ナマコに触れなかった子どもたちも、だんだん慣れて、平気で触れるようになっていきました。海水や氷、海の生き物は、PTA会長や保護者の皆さんが用意してくれました。ありがとうございました。



市役所の職員の方から、「この写真の生き物は何でしょうか？金田の橋場商店の下の浜にいるんですけど。以前は、いなかったと思うのですが・・・」という問い合わせがありました。

観音崎自然博物館の山田先生に訪ねたところ、「スナホリガニ」というヤドカリ科の生物だそうです。他の方からの情報では、きれいな環境でないと、生きられないらしく、三浦の海の環境の良さが証明されたことになります。

波が打ち寄せて、引いた後に現れて、すぐ砂に潜り込んでしまい、なかなか捕まえられなかったそうです。



(文責 事務局長 渋谷)